米代川水系　小猿部川（上流）
洪水浸水想定区域図
(想定最大規模)1/2

1） 説明文

① この洪水浸水想定区域図は、米代川水系小猿部川のうち洪水による災害の発生を警戒すべき区間について、氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です。

② この洪水浸水想定区域図は、作成時点の地形状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小猿部川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2） 基本事項等

① 作成主体	秋田県
② 指定年月日	令和7年4月25日
③ 告示番号	秋田県告示第260号
④ 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項第3号
⑤ 対象となる河川	米代川水系　小猿部川
（実施区間）	北秋田市七日市字水無から品類川合流点まで 北秋田市七日市字水無から品類川合流点まで
⑥ 前提となる降雨	米代川流域全体に24時間総雨量254.0mmの降雨がある場合
⑦ 関係市町村	北秋田市

3） その他計算条件等

① この図は、小猿部川の県が管理する区間で、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」(平成27年7月)、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き(第2版)」(平成28年3月)、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（令和5年7月）の考え方を基本に、越水又は溢水した場合の氾濫の予測される範囲、氾濫した場合に予測される浸水深を表示した図面です。

② この図は、小猿部川の上記2)⑤に記載した区間における氾濫解析結果を基に作成したものです。

③ 氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。

④ 河道と氾濫区域を一体として5mメッシュ(計算メッシュ)に分割し、メッシュごとに浸水深を計算しています。計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。そのため、微地形による影響が表せていない場合があります。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 794」「背景図は電子地形図25000を拡大して使用しているので、位置精度は基図に準じます。」

米代川水系　小猿部川(上流)
洪水浸水想定区域図
(想定最大規模)2/2

凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m以上10.0m未満の区域
- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 0.5m以上3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 当浸水想定区域の対象区間
- 市町村界

1) 説明文

① この洪水浸水想定区域図は、米代川水系小猿部川のうち洪水による災害の発生を警戒すべき区間について、氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です。

② この洪水浸水想定区域図は、作成時点の地形状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小猿部川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2) 基本事項等

① 作成主体	秋田県
② 指定年月日	令和7年4月25日
③ 告示番号	秋田県告示第260号
④ 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項第3号
⑤ 対象となる河川	米代川水系　小猿部川
(実施区間)	北秋田市七日市字水無から品類川合流点まで 北秋田市七日市字水無から品類川合流点まで
⑥ 前提となる降雨	米代川流域全体に24時間総雨量254.0mmの降雨がある場合
⑦ 関係市町村	北秋田市

3) その他計算条件等

① この図は、小猿部川の県が管理する区間で、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」(平成27年7月)、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き(第2版)」(平成28年3月)、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」(令和5年7月)の考え方を基本に、越水又は溢水した場合の氾濫の予測される範囲、氾濫した場合に予測される浸水深を表示した図面です。

② この図は、小猿部川の上記2)⑤に記載した区間における氾濫解析結果を基に作成したものです。

③ 氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。

④ 河道と氾濫区域を一体として5mメッシュ(計算メッシュ)に分割し、メッシュごとに浸水深を計算しています。計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。そのため、微地形による影響が表せていない場合があります。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 6JHs 794」「背景図は電子地形図25000を拡大して使用しているので、位置精度は基図に準じます。」